

ふれあいネットワーク

# 社会福祉協議会だより 夢ふうせん

今回の情報紙は共同募金の配分金で発行しています

## 第112号

2015年12月

社会福祉法人  
下市町社会福祉協議会  
下市町ボランティアセンター  
下市町大字善城 140 番地 1  
TEL 52-6125

## 赤い羽根共同募金に ご協力ありがとうございました



10月1日から全国で実施されている赤い羽根共同募金運動は、町内各戸、各職域事業所等にご協力いただきました。

また、町内小学校の児童会、中学校生徒会も募金活動にご協力下さり、集められた募金を児童、生徒の代表がそれぞれ下市町共同募金委員会にお届け下さいました。

なお、詳しい報告につきましては、現在ご協力頂いている歳末たすけあい募金と併せて次回「夢ふうせん」でご報告させて頂きます。

ありがとうございました。

### ちびっこあつまれ!

### サンタさんも来るよ

### 12月11日(金)

#### 子育てサロン

#### クリスマス会開催!

場所…交流センター10時

(ごんたくんの家)

内容…おはなしランド

カンブリア

### 子育てサロンって何?

子育てされている方が地域の中で気軽に無理のない時間で「楽しく自由に」集まってもらう居場所のことです。

下市町主任児童委員民生児童委員の方々が主になって年間5回開催しています。

同じような年齢の子どもを持つ親たちが集まって、日頃の子育てについてのお話や悩みごと等なんでも気軽にワイワイ、がやがやとお話したり・・・

子どもたちはお友達と一緒に遊んだり、お菓子を食べたりしています。未就園児(生後6ヶ月〜)を対象に地域の民生委員さんを通じてお知らせしています。

初めての方でも大歓迎です

# ふれあい広場 ごんたくんの家

11月14日(土)開催!



ふれあい広場は

交流センター(ごんたくんの家)を周知するとともに、町民の皆さんの幅広い交流の場、憩いの場となるよう、世代間交流の場を提供し、ふれあうことを目的として開催しています。

11月14日、町交流センター(ごんたくんの家)において、第6回ふれあい広場が開催されました。  
この日は、あいにくの空模様となりましたが、子どもから高齢者まで約150名の参加があり、玄関前では、あきつボランティアによる美味しい豚汁と平原地区村づくり委員会ピザハウス「エルバ」の皆さんによる美味しいピザがふるまわれ、また、今回から下市元氣印朝市の野菜販売と「ふれあいカフェ」がオープンし、参加されたみなさんを温かく出迎えてくれました。  
ホールの舞台では、下市おはなしの会によるお話や丹生駐在署三宅さんによるサックス演奏が披露され、交流ホールに美しい音色が響き渡り、参加者の皆さんを楽しませてくれました。ミニコンサートのしめくくりは、社協職員の手話と共に「ふるさと」を大合唱しました。



今回から協力出店の下市元氣印朝市

○×クイズや、紅白玉入れ、抽選会と盛りだくさんの内容で、終始参加者の皆さんは、楽しまれました。  
また、町内有志の方達が持ち寄られたバザーのコーナーでの売上金4万4,789円(内募金、7,624円)は『歳末たすけあい募金』として寄付させて頂きました。ご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。  
下市町社会福祉協議会では、交流センターを町民の皆さんの幅広い交流の場となるよう、今後もこのようなイベントを開催していきたいと思っています。  
開催にあたり、ご協力いただきました関係者の皆さん・ボランティアのみなさんありがとうございました。



あったかい豚汁とピザは大人にも子どもにも大人気!





**バザーは、たくさんの方たちにご協力いただきました**



**きれいなアートフラワーにも挑戦！**



**ボーリング・輪投げ・フラ板作りと子どもたちの喜ぶ内容が盛りだくさんでした。**



**紅白玉入れ・○×クイズは大人も子どもも白熱の戦いでした**



**町老連の方たちにもご協力いただきました。**



**最後に「ふるさと」を手話を交えて合唱！**



## 高齢者ふれあい いきいきサロン連絡会開催



ソーラン節「鳴子」使って楽しく踊りました

11月6日、下市町交流センター（こんたくんの家）において、町社会福祉協議会主催の「高齢者ふれあいいきいきサロン」連絡会が開催されました。この日は、地域でサロンを開催している代表の方達が集い、サロンを開催するにあたり、抱える問題点等意見交換をしました。「男性の参加者が少ない」「何回誘っても中々参加してくれない」「会場までの送迎の問題」等々。「男性向けサロンのネタを用意したり、健康相談などをする」ことにより、参加してくれるようになった」「その人その人に参加したくない事情もある。無理に誘う必要もないのでは、そう思うと少し気持ちも楽になった」等々活発な意見交換がされました。また、職員から「送迎時に起きた事案に対してボランティア保険の対象に

## 奈良聾学校訪問事前学習会 下市中学校1年生



10月27日（火）奈良聾学校訪問を控え、県聴覚障害者支援1年生33名を対象に聴覚障害について学習会が開催されました。

まず、聴覚障害について日常生活や、突然の災害、事故などで困ったこと、また工夫していることなどを話され、手話などのコミュニケーションの大切さを学びました。「少しでも多くの人が聴覚障害を理解し、手話を学んで下さい」と言われた永井さんの言葉に生徒たちは「自分たちに何ができるか」を考える機会になったのではないだろうか。

なる、（但し、車に対する保障は適用外）」と説明を受け、「車の事故も対象になると聞いて、ちょっと安心しました」と話されていました。その後、『サロンでできる簡単リズム体操』と題して、健康体操指導者松岡泰子さんをお迎えし、簡単な体操と、鳴子を使ったリズムダンスを教わりました。参加者の皆さんは「早速次のサロンに取り入れます」と話されていました。

赤い羽根共同募金  
地域福祉配分金事業  
下市中学校1年生  
福祉体験事前学習開催  
11月4日・5日、下市中学校1年生33名が施設訪問を前に高齢者や障害を持つ人・介護を必要とする人への理解を深めることを目的に学習会を開催し、4日の事前学習会では、地域包括支援センター松田保健師による高齢者との接し方を学びました。生徒たちは、認知症に対する話に真剣に耳を傾け、「転倒を予防するにはどうしたらよいか」という問いかけに、「声を掛ける」「手をつなぐ」など、単に福祉用具を使用するといった意見ではなく、中学生の視点での意見が出ていました。



アイマスク体験



車いす体験

5日の体験学習では、下市観光文化センターで、車いす体験・高齢者疑似体験・アイマスク体験をし、高齢者や障害を持つ人たちを理解するために実際に装具を付けて学習しました。この日は、理学療法士堀義範氏を講師にお迎えし車いすの使い方等の説明を受けた後、生徒たちは、体験を終え、高齢者の方や障害者の方が実際に感じている見えにくさや体の動きにくさなどについて体感して事前学習とあわせて高齢者・障害者への理解が一層深まったと思います。

この体験学習を通して、下市の地域で高齢者や障害を持つ人たちを支える一員だと考えてもらえる機会になったと思います。